


ふね遺産 第1回 応募案件－4

「ふね遺産」(応募様式): 帆船日本丸

2016年12月9日提出 氏名(個人名または団体の代表者名): 金近忠彦
 所属(個人は住所): 公益財団法人帆船日本丸記念財団
 メールアドレス: t-iida@nippon-maru.or.jp
 その他の連絡先: 045-221-0280 飯田敏夫

	内容	備考
1. 対象物・資料の名称・所属または所有者	対象物: 帆船日本丸 資料の名称: 完成図書等 所有者: 横浜市 管理者: 帆船日本丸記念財団	平水区域の練習帆船の船舶資格受有
2. 対象物の作成・存在時期	建造時: 1930年(昭和5年)1月進水 存在期間: 1930年～現在	
3. 現状 (写真添付)	横浜市西区みなとみらいの旧三菱造船所1号ドックに係留 	浮いた状態で係留展示、船内の公開が行われている。
4. ふね遺産認定基準の該当項目	【認定対象】 (1) 船舶 (3) 建造時の図面等 【認定基準】 (4) 船用ディーゼル機関の国産化へ寄与するとともに、国内における大型洋式帆船の帆走艤装設計を確立した。 (12) 戦前・戦中・戦後を通し練習船として多くの船員を育成するとともに、戦後復興・国際親善に寄与した。 (13) 国民の船への興味を醸成する役割を果たしてきた。現在も海洋教育の場とし活用されている。	完成図書とは別に、建造時の検討資料が神戸大学に資料として保管されている。
5. 歴史的・工学技術的意義	(1) 現存する日本で建造された航行可能な最古の帆船。 (2) 日本で開発製造された初期の大型船用ディーゼル機関 (3) 設計図書、航海・機関・無線日誌等の資料が多数現存する。 (4) リベット接合の横式構造が保たれている。 (5) 建造時の輸入鋼材が大部分残っている。 (6) スティの張り方が建造時のまま保たれている。	戦前の航海記録やフィルム映像が保管されている。
6. 参考資料・文献(本表に収まらない場合は別途添付する)	(1) 日本船舶海洋工学会 (2) 帆船日本丸保存シンポジウム(2016年10月) (3) 帆船日本丸保存活用検討委員会(2010年7月)	